



# あすなろ



2017.3 No.4 あすなろ作成委員  
編集担当：八束小学校

今年度最後のあすなろをお届けします。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。年度末でもありお忙しいことと思いますが、素敵な内容になっていますので、是非ご覧ください。

私の学校の職員室の前には、白木蓮の木があります。毎年花が咲くのを楽しみにしているのですが、今年もきれいに咲き始めました。春が来たなあ、1年はあっという間だなあ…と感じます。みなさんにとって、どんな1年だったでしょうか？締め括りの時期です。体調を崩さないよう気を付けながら、がんばっていきましょう。

## 平成28年度 高知県公立小中学校等事務冬季研修会に参加して

平成29年1月27日（金） 高知会館

### 四万十市立東中筋小学校

1月27日、県冬季研修会に参加してきました。

#### 【旅費について】

旅費について、小中学校課の説明では、高知県の財政状況の厳しさや来年度からの旅費の予算配分の方法について詳しく説明していただき良く分かりました。これからは、これまで以上に計画的な執行を心掛けていきたいと思いました。

#### 【四国大会報告・今後の研究について】

四国大会の報告・今後の研究については、私は四国大会には参加できませんでしたが参加していない人にも分かりやすい説明だったと思います。先生の講演内容では、外部マネジメントや業務改善について今後の事務職員に求められる役割などの説明があり、私自身も意識しながら取り組んでいかないといけないなと感じました。また、グループ討議では、同年代のグループだったので、とても話しやすく、各市町村の取組や課題を聞くことができとても有意義な時間となったと思います。

#### 【福利厚生に関する実務研修】

福利厚生に関する実務研修として、公立学校共済組合高知支部の方より説明がありました。通知文書の説明はとても分かりやすく、全体で確認ができてよかったと思います。福祉保険制度も詳しく聞くことができ、とても勉強になりました。

#### 【講話「事務職員として 事務長として～新たな展望を持って～」】

事務長の講話では、不祥事についての話がありましたが、改めて全体で振り返り、今後二度とこのようなことが起きないようにどのように改善していくか確認できる場となったと思います。

また、今後事務職員として「学校経営に参画して学校の教育活動を教員と共に高めていく事」が求められているというお話がありましたが、その役割をきちんと認識し、志を高くもち、日々の仕事に取り組んでいきたいと思います。

#### 【研修報告「教職員等中央研修」】

学校組織マネジメントの3つの視点や学校ビジョンの作成手順など、今後私たちも学校経営に参画していく上で覚えておきたい大切な内容だったと思います。資料も説明もとても丁寧にまとめられていて分かりやすかったと思います。

研修会に参加して、旅費や福利厚生に関する実務研修など説明も資料もとても分かりやすくまとめられていて、全体の場で確認することで共通理解ができたと思います。

これから「チーム学校」の中で私たち事務職員がどのように学校経営に参画していくか、求められている役割についてきちんと認識し、日々の仕事に取り組んでいかなければと思います。

## 第91回幡多地区公立小・中学校等事務職員研修会に参加して

平成29年2月10日（金） 四万十市立中央公民館

### 宿毛市立宿毛小学校

最初に、幡多地区内採用2年次事務職員訪問研修の報告があった。昨年度は私も各校で勉強させていただき、今年度は勤務校にも訪問があったため、そのときのことを振り返りながら聴かせていただいた。要点が整理された大変分かりやすいプレゼンテーションであり、経験したこと、学んだことを正確に分かりやすく伝えることを私も見習いたいと感じた。

続いて、公立小・中学校事務職員研修（ステージⅡ）の報告では、はじめに『キャリアの振り返り』が設定されていた。採用から現在に至るまでの自分自身を振り返ると、経験年数が増えていく中で、成果もあれば失敗もある。時には自らを見つめなおして課題を整理し、将来に繋げていくことも大切だと感じた。続く『メンター・メンティー』では、2年次研修の報告でも取り上げられていた「人と人との繋がり」や「パイフoward」という言葉を意識させられた。同僚や先輩職員から学んだこと、助けられたことを次の世代へ繋いでいきたい。最後に『学校組織マネジメント』について説明があった。事務職員は組織マネジメントの要であり、学校組織の目的・目標に向かって、学校内外の環境に気を配りながら、予算や物品といった資源を管理・活用する役割を担っている。学校教育目標の実現に向け、日々研鑽を重ねていきたいと改めて感じた。

研修①では、入野小 により『得意技を活かした経営参画』をテーマにした実践発表の後、グループ討議を行なった。私の考える事務職員ならではの得意分野とは、さまざまな情報を基にした教育環境整備である。事務職員の取り扱う業務は多岐にわたり、入ってくる情報量も多い。特に、予算や法令といった行政的な情報を持っていることは大きな強みであると言える。これらの幅広い情報を文書やデータ化して整理し、組織全体で共有することで組織力の向上に繋がる。グループ内では、職員会や学校行事における「情報を伝えることの難しさ」が課題として挙がっていた。私も日々の業務の中で、話したことがうまく伝わっていなかったり、互いの受け取り方に相違があったりといった経験がある。このような場合の解決策として、担当者と一対一ではなく複数を変えて話をする、要点を整理して簡潔に伝える、口頭だけで伝えるのではなく、文書にして記録に残す等、さまざまな意見が挙がっていた。今回の学びを勤務校でも活かしていきたい。

研修②及び③では、新潟県新潟市の学校事務行政について説明があり、その後『業務改善』についてケースメソッドを行なった。教員から事務処理に係る負担が大きいという提案があり、事務職員が対応に頭を悩ませる…といった内容だった。校内の課題に対して、今まで問題が無かったからといって既存の方法のままで終わらせるのではなく、時には教員の目線に立って、より良い方向へ改善できるよう努める。規程・規則があれば職員に理解してもらえよう管理職に協力してもらおうことや、他の事務職員の取組みを参考にしたり、教委等の関係機関へ働きかけたりできるという意見があった。これまで、共同実施組織で規定整備や様式改善等に取組んできたが、より自発的に行動する姿勢を身に付けたい。

今回の研修会では、いずれも「学校組織の一員としての経営参画」について取り上げられていた。チーム学校の一員として、事務職員の専門性を活かした学校経営への参画。採用以後何度も言われていることだが、言葉では理解しているつもりでも、いざ学校に帰って実践できているかと言えば、未だ不十分である。しかし、こうして研修会に参加することで、多くの学びを得ることができる。前向きな考えを持って、事務職員として確実に力を付けていきたい。まもなく採用から4年目の春を迎えようとしている。日々の業務にも慣れてきたが学ぶ姿勢を忘れず、自分なりの持ち味を活かして学校組織に貢献していきたい。



# 総括主任より

土佐清水市立清水中学校

土佐清水市の教育理念と学校事務について一部お知らせします。

## 1 《基本理念》

「ふるさとを愛し、ジョン万スピリットを持った 心豊かな人づくり」  
Challenge! Independent decisions! Never give up!

其の一  
旺盛なチャレンジ精神をもつ

其の二  
大事な場面で、自分で決断し、  
結果を他人のせいにはしない

其の三  
決してあきらめない



「土佐清水市教育振興基本計画」（平成25年度～平成29年度）より

どんな課題があっても、常に前向きで、広い視野で大きな夢や志を持って未来を切り拓くことを進めています。

私たち事務職員もジョン万スピリットの精神で進んでいます。

## 2 清水小学校の校舎が新しくなりました！



仕切りの無いオープンな教室



低学年トイレの手洗い場



ジョン万の志が伝わるような階段

☆学校に通うのが楽しくてたまらなくなりそうな学校です！

### 3 新規採用の さん（幡陽小学校）の業務日誌より

4月4日 電話緊張した。やること多すぎて頭おかしくなった。

5月23日（研修明けでひさびさの出勤）

すさまじい量の書類が机にあったので燃やそうかと悩んだけど、環境に悪いので諦めた。



6月8日 いつもより多く“ありがとう”と言われて嬉しかった。今日よりも多く感謝される人になるためにがんばろうと思う！

9月16日 給料・文書・旅費・支援員の報告・理振・通学費・PTA会費・就学援助・・・今日は思ったように動けた気がする。

1月25日 ああしておけばよかったとか、なんでこういう処理をしているのか？と思うことがかなり出てきた。

（たくさん悩んで試行錯誤して成長している様子がわかります。正直な気持ちをつづっています。今では仕事が見えてきていますね。市全体の文書配信やホームページ担当も受け持ってもらい、頼りになりつつあります。さらなる飛躍を期待しています。）

### 4 私有車の公務使用規程が一部改正されます。

（私有車の使用許可の要件）

これまで → 1年以上の運転経験を有し、運転技術に習熟していること。

29年度より → 1年以上の運転経験を有し、運転技術に習熟していること。  
ただし、やむをえず学校長が必要と認めた場合はこの限りではない。

最小限の許可を約束しました。市内の出張と、開催時刻によっては、最寄りのくろしお鉄道駅までの使用が可能です。

# 総括主任より



四万十市立中村南小学校

私からは、今年度受けた研修ステージⅣの中から心に残った講義について紹介します。  
その講義というのは、株式会社ヤオコーポレーション さんの講義  
です。

この研修は3年目の教頭先生方と一緒に受講し、「学校組織マネジメントの実践（学校経営品質）」という題名でリーダーシップとは何かを考えさせられる内容でした。  
「私はリーダーじゃない」なんて思わないでください。みんなリーダーです。それに学校のリーダーである校長を支えるためにもリーダーの資質を知ることは重要です。講義の中から一部抜粋して紹介します。

変化の激しい時代、どうすれば人が成長するのか？どうすれば人が動くのか？いかに組織をより良くしていくか？一人ひとりの生きる力がますますためされる時代である。

リーダーシップとは、みんなをやる気にさせることで、そういう「場」をつくること。  
「場」には空気がある

日本人は場の雰囲気流されやすい。その場の空気に負けやすいということです。

ひとつの例として、第2次世界大戦のときのゼロ戦だって、誰もいい作戦だとは思っていなかった。でも軍の会議の中で、それがおかしいと言える空気ではなかったため誰も止めることができずに悲劇が続いた。これは極端な例ですが、「場」が悪いというイメージは伝わったでしょうか。

また、会議の健全度チェックを示していただきました。その中で、「いつも意見を言わない人がいる」「発言すると損をするので、黙っていることが多い」「声の大きな人の意見が結論になる」という項目がありました。このようなことも、「場」「空気」が悪くなる原因です。

空気や雰囲気は人が作るもので、そこにいる一人ひとりに責任があります。場の雰囲気は一瞬でわかるものなので、職場のリーダーは、自分の出している雰囲気にも気づくことが大事です。

自分自身の雰囲気を良くしていくために、普段から意識をしておくことは、

- 日常の「表情」……いつも、しかめっ面をしていないか？  
人が近づきやすいよう柔らかく。表情は他人のためにあるものです。
- 話を聞く「姿勢」…人と話をするときにその人の顔を見て、視線を合わせて話を聞く。
- 発する「言葉」……言葉の掛け方一つで、相手を元気にしたりやる気をなくさせたりする。

仕事は大変でも、職場の雰囲気は明るく、人間関係はあたたかく・・・  
学校は機械相手ではない。人間相手なのだから、まずは楽しい空気にして人がその気になるように考えていくことが質を上げることに繋がる。

そして、これからの世代の育成には工夫が必要。今まで自分が育ってきたやり方ではだめ。育ってきた背景が違うということをリーダーは理解しなくては若い人を育てられない。

スポーツ界で結果を出している監督達を思い浮かべてください。その方たちは、まめに一人ひとりに声をかけ、いつも見てくれているという安心感を与え、一人ひとりがどうやったら成長するかを考えて、水や肥料をどのタイミングで上げるか考えながら育成しています。

最後に さんが紹介してくれた【 】さんの詩「あの人」です。

**あの人**がゆくじゃ わたしは ゆかない  
**あの人**がゆくなら わたしも ゆく  
**あの人** あの人 わたしはどっちの **あの人**か…?

さんの講義は他にも興味深い話をたくさん聞くことができました。このように私たちは仕事をしていることで色々な研修を受け学ばせてもらっています。とてもありがたいことだと思いませんか？

またまた詩の紹介ですが、

**少にして学べば、壮にして成すことあり。**  
**壮にして学べば、老いて衰えず。**  
**老いて学べば、死して朽ちず**



【 】19世紀、美濃国岩村藩出身の儒学者の作ったものです。学び続けることの大切さを感じ、初めて目にしたときからずっと心に残っています。

みなさんは今どのような学びをしていますか？仕事をするだけでも、色々な書類を読んだり処理をしたりと頭を使うことはできていると思います。でも、目の前の仕事のことだけで学びは十分ですか？

これからの教育界は大きく変化していきます。その中で事務職員に求められることも変わってきます。実際、学校教育法に位置づけられている学校事務職員の職務内容が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に改正するように閣議決定されました。これはとても大きなことで、私は感激しました。この変化に対応していくためには自分達はもっと変わらなくてははいけません。四国大会で日渡先生は能力開発型の研修が重要だと教えてくれました。

もちろんそれだけではありませんが、今まで以上に研修が重要になります。県や支部の研修に参加するのはもちろんですが、研修をどのように意義のあるものにしていくのかも大きな課題です。会員全員で幡多支部の研究体制を盛り立て、個々が成長できる研修を作り上げていきましょう。

# なかまのうごき

## 土佐の教育実践表彰

黒潮町立入野小学校                      さん が受賞されました。

おめでとうございます。今後の更なるご活躍をお祈りしております。



## 退職されるみなさまより

退職されるみなさまよりメッセージをいただきましたので、ご覧ください。  
長い間お世話になり、本当にありがとうございました！

四万十市立八束中学校                      さん

37年お世話になりました。18歳で採用になり右も左もわからなかった小娘(?)が今や立派なおばさん。採用当時のことを思うと、あんなことこんなこと・・・今では考えられないような事をしていたのですが、同期のなかまや頼もしい先輩方に助けられなんとかここまでやってこられたと思っています。

当時を考えれば、私たちを取り巻く制度、自分たちの意識・行動などなど、すご〜く成長したと思います。まだまだこれからですが一足先に失礼し、春からは外側から応援していきます。ありがとうございました。

土佐清水市立下ノ加江小学校                      さん

私が採用になった昭和50年、あの頃は、年度当初には必ずガリ板と鉄筆を予算で購入していましたよね。今では、数年前に購入したファックス原紙もなかなか減りません。更紙も6年以上前に購入したものがまだたくさん残っています。そうそう、大月町は、昭和50年当時は、電話交換手さんを通して電話がかかってきていましたよ。

今では、一人1台(以上?)電話器を持っています。私が勤めた42年間って大きな変化のあった42年間だったのですね。仕事の内容は前半の20年間は、ほとんど前年と変わらず事務処理をしていただけのような気がします。後半の20年は、どんどん法規が変わって前年の書類が参考にならないことも。

でもこれからの10年先、いや5年先には、自分たちのことは自分たちの手で、どんどん変えていってください。私は、何気なく過ごした自分の42年が残念ですが、皆様のご活躍、事務職員の発展を祈念して退職していきます。ありがとうございました。

宿毛市立大島小学校

さん

学期末を迎え忙しい毎日になってきました。早めに準備をしようと思っていてもやっぱりばたばたと終わりそうです。でも、こんな慌しさも今年で終わりかと思うと感慨深いものがあります。

本当にみなさんにはお世話になりました。宿毛市の共同実施チームや研究部では新しい情報や各市町村の1歩前進した取組を聞き、自分に活を入れることもしばしばでした。1人職場ですから、是でいいと自分が思えば誰も咎める人はいませんし、指摘されることもありません。志を持って頑張ってください。

つい最近まで仕事をしていない自分を想像できませんでしたが、退職の書類を整えているうちに自宅の車庫の2階の部屋を私専用の部屋に模様替えしよう、高知にいる長男夫婦の孫のお守りに行こう、旅行に行こうとか、つぎつぎと出てくるのですが、どうなることでしょうか。在職中には病気休暇をとったこともあります。今はまあまあ元気です。それが1番うれしいことです。

みなさんも、多岐に渡る仕事を抱え時に疲れを感じることもあるかもしれませんが、どうぞお元気でお過ごしください。

黒潮町立南郷小学校

さん

このたび、退職することになりました。振り返れば41年。こんなに長く勤める予定ではなかったのに、、、。とりあえずは自分に「お疲れ様」です。

皆様には大変お世話になりました。お礼申し上げます。退職後はのんびり過ごしたいと考えています。皆様もお身体を大切に頑張ってください。

三原村立三原中学校

さん

採用になったのは、昭和55年下川口小学校でした。以来、土佐清水市、宿毛市、四万十市と異動し、10校目の三原中学校で退職します。思えば、同期は22人位居たように思います。最も採用人数の多いボリュームゾーンで採用になり、皆様のおかげでなんとかここまで勤めることができました。

振り返ると様々なことがありましたが、学校事務職員をすることで目に見えない時間の経過を、児童生徒の成長で感じていたように思います。5年間を残しての退職になりますが、4月からは元気で楽しく好きなことをしようと思っています。お世話になりました。

ありがとう  
ございました。

